



2020年1月30日

各位

会社名 株式会社 じげん
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 平尾 丈
(コード番号：3679 東証第1部)
問合せ先 取締役 執行役員 CFO 寺田 修輔
(TEL. 03-6432-0352)

株式会社アイアンドシー・クルーズの株式取得について

当社は、2020年1月30日開催の取締役会において、株式会社アイアンドシー・クルーズ（本店所在地：東京都港区、代表取締役：上村一行、以下「IACC」といいます。）の株式を取得し、子会社とすることを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 取得理由

①取得概要と事業戦略

IACCは2013年より運営している「リショップナビ」を始め、リフォーム、エネルギーメディア事業を手掛けており、工務店や塗装会社といった中小規模の法人を中心に約700社の顧客基盤を保有しています。

今後は、当社グループのマッチングテクノロジーを活用して送客力の強化を図り、IACCの更なる業績向上を目指します。また、当社はこれまで、既存領域における送客力強化、顧客基盤拡大に加え、新規領域の拡張により、メディアプラットフォームの価値を拡大してまいりました。IACCの株式取得により、不動産領域における事業成長の加速、法人顧客の商流獲得による積み上げ型収益(ストック収益)の拡充による企業価値向上を目指します。

②市場環境

新設住宅着工数は近年、住宅ストックの充足や世帯数の増加率鈍化によって100万戸を切る水準で推移している一方で、国土交通省発表の住生活総合調査によると新築住宅への住み替えにこだわらない人の割合が増加しており、リフォーム事業との連動性が高い中古住宅への需要増加が見込まれます。

野村総合研究所の試算によれば、広義のリフォーム市場は2018年：6.2兆円から2030年：7.4兆円への拡大が見込まれています。

③投資実績

当社グループは2013年11月の東京証券取引所マザーズ市場への上場から現在に至るまで、13件のM&Aを実施してまいりました。直近取得3社や売却済み1社を除く9件について、実質投資価額(=株式取得額-ネットキャッシュ)77億円に対する2019年3月期単年度のEBITDA実績は30億円(対実質投資価額39%)と、持続性、再現性のあるM&A及びPMI戦略の実行により、高い投資リターンを確保しています。

2. 取得の方法

株式取得金額の全額を手元資金及び借入金で充当する予定です。なお、2019年3月期末において、当社連結の親会社所有者帰属持分比率は68.8%、のれん/資本倍率は0.6倍と、財務目標(親会社所有者帰属持分比率40%以上、のれん/資本倍率1.0倍程度)範囲内の健全水準であり、本件による財務方針への影響はございません。

3. 対象会社の概要 (2019年3月31日現在)

(1) 商号	株式会社アイアンドシー・クルーズ
(2) 所在地	東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル5F
(3) 代表者	代表取締役 上村 一行
(4) 事業内容	リフォーム、エネルギーメディア事業の運営
(5) 設立年月	2008年6月13日
(6) 資本金	70百万円
(7) 大株主及び持株比率	経営陣 46.0% 環境エネルギー1号投資事業有限責任組合 35.8% Fenox Venture Company II, L.P 3.6% Fenox Venture Company III, L.P 12.9% その他株主 1.7%
(8) 当社との関係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

注：業績等の概要については、当事者間の守秘義務により非開示とさせていただきます。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：-%)
(2) 取得株式数	2,266株 (議決権の数：2,266個)
(3) 取得価額	非開示(注)
(4) 異動後の所有株式数	2,266株 (議決権の数：2,266個) (議決権所有割合：100%)

注：取得価額は当事者間の守秘義務により非開示とさせていただきますが、対象会社の予想業績等に基づいてDCF法やマルチプル法から算出されたバリュエーションは、当社投資基準の範囲内です。

5. 日程

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 取締役会決議 | 2020年1月30日 |
| (2) 契約締結日 | 2020年1月30日(予定) |
| (3) 株式譲渡実行日 | 2020年2月3日(予定) |

6. 今後の見通し

本件による2020年3月期の当社業績に与える影響につきましては、約2ヶ月のみの新規連結効果であることにも鑑みて軽微と考えております。今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、2019年11月12日開示の修正業績予想に対して、足元の業績は概ね計画通りに推移しており、2020年3月期第3四半期連結累計会計期間(9ヶ月)の売上収益及び営業利益は前年同期比で増収減益、同連結会計期間(3ヶ月)では前年同期比で減収減益となる見通しです。2020年3月期第3四半期決算に関する開示は2020年2月14日を予定しております。

(参考) 当期連結業績予想(2019年11月12日公表分)及び前期連結実績

	売上収益	営業利益	親会社の 所有者に帰属する 当期利益
当期連結業績予想 (2020年3月期)	百万円 13,000	百万円 3,900	百万円 2,650
前期連結実績 (2019年3月期)	12,854	4,077	2,811

以上